



# 市町村国保の都道府県別収納率（現年度分）

- 平成25年度の収納率を都道府県別に見ると、島根県(94.95%)が最も高く、東京都(86.20%)が最も低い。
- 平成25年度においては、46都道府県の収納率が上昇した。

	平成24年度		平成25年度		対前年度増減	
	%	順位	%	順位	%	順位
1 北海道	91.33	22	91.94	22	0.61	14
2 青森県	88.69	42	88.84	42	0.15	44
3 岩手県	92.03	15	92.34	17	0.31	34
4 宮城県	89.87	39	90.19	40	0.32	31
5 秋田県	91.46	21	91.72	25	0.26	40
6 山形県	92.47	10	92.71	12	0.24	41
7 福島県	90.39	34	90.38	38	▲ 0.01	47
8 茨城県	88.73	41	89.44	41	0.71	6
9 栃木県	87.88	44	88.38	46	0.50	24
10 群馬県	90.20	35	90.78	35	0.58	17
11 埼玉県	88.16	43	88.84	43	0.67	7
12 千葉県	87.79	45	88.45	44	0.67	8
13 東京都	85.63	47	86.20	47	0.57	18
14 神奈川県	89.47	40	90.65	36	1.18	1
15 新潟県	93.03	6	93.32	8	0.30	37
16 富山県	94.09	2	94.49	2	0.40	29
17 石川県	91.29	23	92.04	19	0.75	4
18 福井県	91.28	24	91.93	23	0.64	11
19 山梨県	89.89	38	91.00	32	1.11	2
20 長野県	93.27	3	93.69	5	0.42	27
21 岐阜県	92.10	13	92.39	16	0.29	36
22 静岡県	90.02	37	90.65	37	0.63	13
23 愛知県	92.30	12	92.96	9	0.66	9
24 三重県	90.71	30	91.01	31	0.30	37
25 滋賀県	93.00	7	93.73	4	0.74	5

	平成24年度		平成25年度		対前年度増減	
	%	順位	%	順位	%	順位
26 京都府	93.05	5	93.52	6	0.47	21
27 大阪府	87.76	46	88.41	45	0.65	20
28 兵庫県	91.05	26	91.55	26	0.50	25
29 奈良県	92.05	14	92.55	14	0.50	11
30 和歌山県	91.67	20	91.97	20	0.30	37
31 鳥取県	91.25	25	91.81	24	0.56	3
32 島根県	94.76	1	94.95	1	0.19	35
33 岡山県	90.50	32	91.01	30	0.51	26
34 広島県	90.12	36	90.21	39	0.09	46
35 山口県	91.69	19	91.95	21	0.26	40
36 徳島県	90.80	29	91.21	29	0.41	24
37 香川県	91.93	18	92.11	18	0.18	43
38 愛媛県	92.81	8	92.91	10	0.10	45
39 高知県	91.97	16	92.51	15	0.55	43
40 福岡県	90.86	27	91.23	28	0.37	38
41 佐賀県	93.15	4	93.74	3	0.59	30
42 長崎県	92.46	11	92.72	11	0.26	40
43 熊本県	90.63	31	90.83	34	0.21	42
44 大分県	91.95	17	92.58	13	0.63	7
45 宮崎県	90.86	28	91.45	27	0.59	46
46 鹿児島県	90.43	33	90.85	33	0.42	41
47 沖縄県	92.68	9	93.49	7	0.81	12
全国	89.86	—	90.42	—	0.55	—

(出所) 国民健康保険事業年報

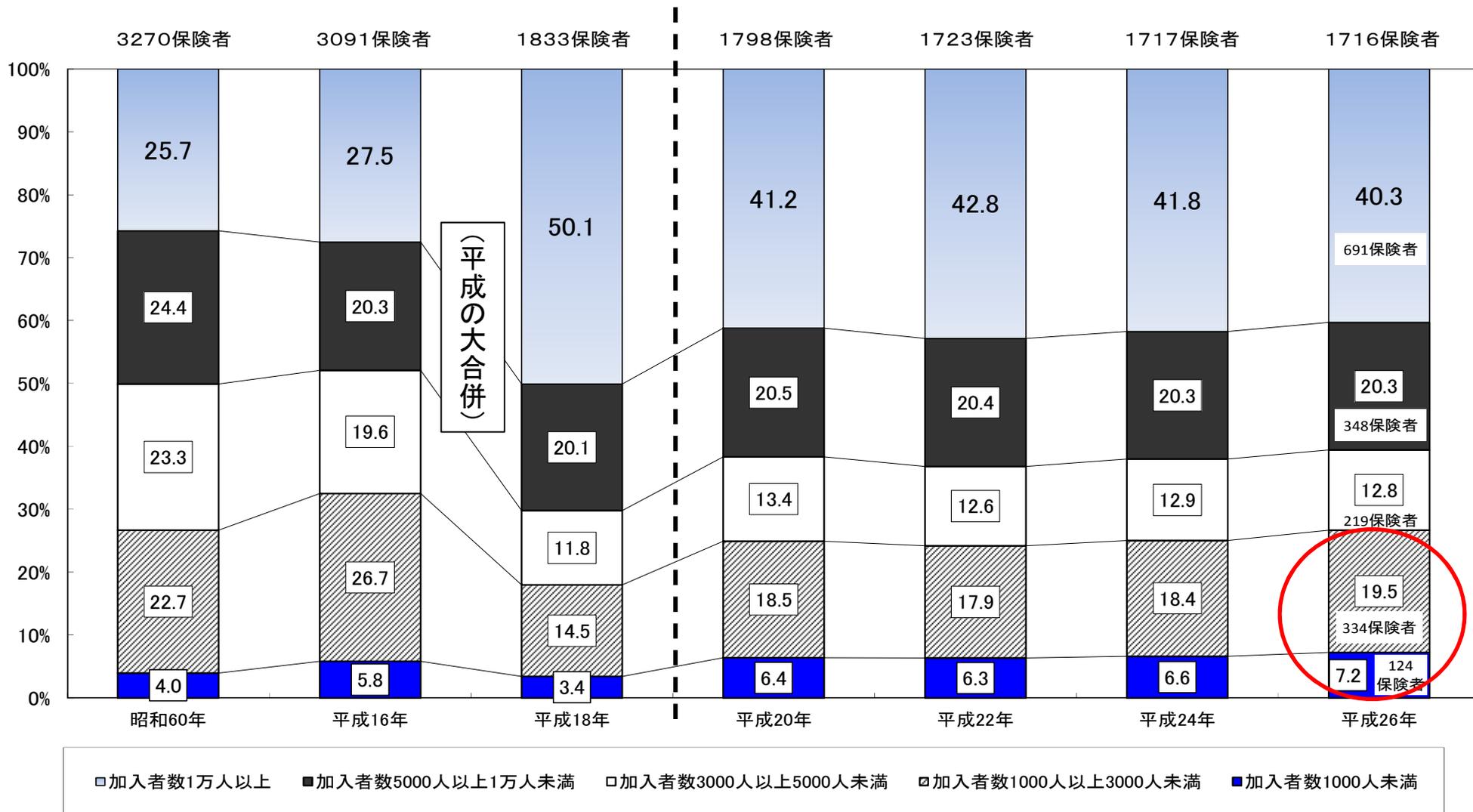
(注1) 収納率は、居所不明者分調定額を控除した調定額を用いて算出している。(小数点第2位未満四捨五入)

(出所) 国民健康保険事業年報

(注1) 収納率は、居所不明者分調定額を控除した調定額を用いて算出している。(小数点第2位未満四捨五入)

# 保険者規模別構成割合の推移

平成26年9月末時点で、1,716保険者中458保険者(約1/4)が被保険者数3,000人未満の小規模保険者。  
 ※ただし、平成26年度の数值は速報値。



(出所): 「国民健康保険実態調査」

(注) 平成20年度に後期高齢者医療制度が創設され、被保険者数が減少していることに留意が必要。